

生活科学習指導略案

2年3組 28名 指導者 福元浩子

本授業では、以下の検証を行うものである。

- 付箋紙を使って思考を可視化し、気づきを諸感覚ごとに分類する活動は、思考力・判断力・表現力を育成する手立てとして有効であったか。
- 小集団での交流は、気づきの質を高める手立てとして有効であったか。

1 単元 おいしいやさいになあれ

2 指導計画（総時数11時間）

過程	主な学習活動【評価規準】	時間
であう みつける	1 育てる野菜を決め、育てる目的をカードに記入する。 2 野菜を買いに行き、育てる野菜の苗を植える。 【関：育てたい野菜を決め、野菜栽培に興味・関心をもって、大切に育てようとしている。】	4
かかわる	3 野菜の生長の様子を観察し、必要な世話をする。 【思：野菜の特徴や育つ場所、変化や生長について考え、世話の仕方を工夫したり、生長の様子を自分なりに表現したりしている。】	4 (本時)
つたえあう つなげる	4 自分で育てた野菜を収穫し、栽培活動を振り返る。 【気：野菜は、生命をもっていることや野菜を育てた喜び、自分の成長に気付いている。】	3

3 本時（6／11）

(1) 目標

つるや葉、花の特徴などを観察したり、気付いたことを情報交換したりすることを通して、野菜の特徴や変化に気付くようにする。

(2) 評価規準と評価の視点

野菜の特徴や変化の様子を諸感覚を使って観察し、気付いたことを伝えようとしている。

《評価の視点》

- ミニトマトは、小さくて黄色い花が咲くんだな。
- 野菜によって葉っぱの形や大きさが違うんだな。
- お世話を頑張ったから野菜が大きくなったんだな。

(3) 指導に当たって

「であう・みつける」活動では、野菜クイズをすることで、野菜の特徴に着目できるようにする。また、これまでの子どもの世話の様子を称賛し、野菜が順調に成長していることに気付かせたり、育ててきてよかったなという思いを高めたりすると同時に、自分の育てている野菜について、まだ知らないことがあることに気付くようにする。

「かかわる」活動では、まず、虫眼鏡を使ってじっくり観察したり、触ったり、においを嗅いだりする活動を行い、諸感覚から生まれた気づきを付箋紙に書くようにする。次に、書いた付箋紙を、諸感覚に分類した「見える図」(分類図)に貼り、小集団での交流を行うようにする。また、「学び合い」の充実を図るために、小集団での話し合いの仕方を提示し、自信をもって自分の考えを伝えたり、相手の考えを最後まで聞いたりすることができるようにする。

「つたえあう・つなげる」活動では、「見える図」(分類図)を振り返り、気付いたことを発表したり称賛したり価値付けたりするとともに、これからの栽培活動への意欲付けや野菜への愛着を高めていくようにする。

過程	時間	主な学習活動と指導の手立て・評価	
であ う・ みつ ける	7	1 野菜クイズをする。 ・トマトだよ。水を毎日あげているから分かるよ。 ・葉が細いよ。何だろう。ピーマンかな。 ・ぼくの育てているナスではないな。 ・知らないことが多いな。もっと詳しく調べたいな。 ・どんなにおいがするのかな。トマトの実と同じかな。	拡大した葉っぱや花の写真を当てるクイズをすることで、自分の育てている野菜について、知らないことがあることに気付き、もっと詳しく観察したいという興味・関心を高めるようにする。また、諸感覚カードを提示し、視点を明確にして観察できるようにする。
		2 本時のめあてをつかむ。 ☐ じぶんのやさいのことをもっとしらべて、やさいめいじんになろう。	気付きを付箋紙に記録し、それを操作することで、思考を可視化できるようにする。また、前回の観察で使用した付箋紙と異なる色の付箋紙を準備し、ワークシートに分類して貼ることで、野菜の特徴や変化に気付くことができるようにする。
か か わ る	23	3 自分の野菜の特徴や変化を調べ、付箋紙に書き、ワークシートに分類する。 ・ミニトマトに小さくて黄色い花が咲いているよ。 ・きゅうりに、2つの違う花がさいているよ。虫眼鏡でよく見てみよう。 ・茎をよく見ると、長く太くなっているね。 ・花をさわると、粉がついたよ。 ・トマトの葉っぱはトマトと同じにおいがしたよ。	「学び合い」の充実を図るために、グループの話合いでは、司会者と発表者を決め、責任をもって話合いに望むようにする。また、小集団での話合いの仕方を提示し、自信をもって自分の考えを伝えたり、相手の考えを最後まで聞いたることができるようにする。
		4 グループで気付いたことを紹介しながら、付箋紙の分類をし、まとめる。 ・私も〇〇さんと同じで、葉っぱのにおいを嗅ぐと、トマトと同じにおいがしたよ。 ・花に粉がついているの？私も虫眼鏡でよく見てみよう。 ・きゅうりの花はちがうんだね。すごいね。わたしも虫眼鏡でよく見てみよう。	※ 野菜の特徴や変化の様子を諸感覚を使って観察し、気付いたことを伝えようとしている。 ○ たくさんの気付きを見つけた子どもには、積極的に発言するように言葉掛けをする。 ○ 気付きがあまり見られない子どもには、教師や友達との対話を通じて、助言や支援をしていくようにする。
つ た え あ う・ つ な げ る	15	5 気付いたことを伝え合う。 ・花の大きさや触った感じ、色は野菜によって違うんだな。 ・毛が生えている野菜が多いな。私の野菜と同じだな。 ・においを嗅いだり、触ったりすると、たくさんのおいしさに気が付くことができるな。 ・どの野菜も大きくなっているな。	諸感覚を生かして、多くのことに気付くことができたことを称賛し、これからもお世話を続けるぞという意欲付けや野菜への愛着を深めるようにする。
		6 本時の学習を振り返る。 ・今日は、たくさんのおいしさを調べて、野菜名人になれたよ。調べるっておもしろいな。 ・収穫が楽しみな。 ・これから、どんなふうに大きくなるかな。 ・これからもお世話を頑張るぞ。	